



# 就労支援 A 型・B 型事業所 利用者募集中！

株式会社ジルベルトは「障がい者を納税者に」を Vision に掲げ、毎年 10 人近くの就職者を輩出しています。自立したい、もう一度働きたい、自信をつけたい、そんな方をサポートします。日々しっかりと仕事をこなして頂くので就職するための準備が自然と身につきます。

施設外作業

清掃業務

動画編集

データ入力

古着事業

在宅利用<sup>\*</sup>も可能です。詳細については、お電話又は公式 LINE よりお問い合わせください。

※在宅利用についてはお住まいの市町村で定められた条件があります。

公式 LINE のお友だち登録はこちら



## YouTube 配信中

### 就労支援ファンタジスタの事業完全ガイドTV

就労支援のあるある、良い事業所の見分け方、タメになるノウハウから最新の時事ネタまで！週 3 回更新！是非チャンネル登録をお願いします！



就労継続支援 A 型事業所・B 型事業所  
株式会社 ジルベルト

〒654-0151 神戸市須磨区北落合 1 丁目 1 番 4 号  
白川コーポレーションビル101号

TEL: 078-747-0505

FAX: 078-747-0506 <https://gilberto.co.jp/>  
営業時間: 9時~18時 休日: 土・日・祝



ジルベルトから就職して半年定着をしたメンバーに聞いてみた！



## ジルベルト 就職者インタビュー

支援員 岡嶋政宏

× コバヤシさん

#01

### 障がいを抱えながら社会人として活躍する先輩の「今」とあの頃について聞いてみました！

#### ジルベルト入社前～入社後



岡嶋(以下 岡): 小林さんはいつうちに入社したんですか？

岡: そこで結構苦労を感じたんですか？

小林(以下 小): 一番最初は前のことなんで覚えてないんですけど、2021年の11月？ 岡嶋さんの1ヶ月遅れですかね。2021年の10月ぐらいですかね

小: そうですね。ちょっと自分がもともとマイペースのところがあるので、ちょっと周りのみんなが早いとか思っていて、ちょっと自分もこういふ風にならないといけないな っていう努力をしてたはずなんですけど、やっぱりちょっとスピード感が遅かったりとか、逆に自分が早かったりとかっていうパターンもあったので、そこは苦労しましたね。

岡: ジルベルト入ろうと思ったのは何でですか？

岡: 施設外でも人間関係でトラブルもよくありましたもんね(笑)

小: 当時自分の体調のことで悩んでいて。そんな中で姉の旦那さん(義理のお兄さん)が「A型B型とか、そういうところあるよ」っていうので教えてくれて、最初はいろいろ見て回ってたんですけど、その中のジルベルトがあったので、いろいろ見た中で、印象的には自分が一番好きな雰囲気だったので。

小: 僕の障がい特性上、予想外の動きや行動にストレスを感じてしまうので、周りの利用者の作業のやり方や言動に過敏に反応してしまい、作業に支障がでてしまう事もありました。休憩をさせてもらうことや、悩みを都度サポーターの方に相談させてもらう事も多かったです。

岡: その中で雰囲気が良かったジルベルト？

岡: 小林さんはそれをどうやって乗り越えましたか？

小: そうですね。一番綺麗でしたね

小: そうですね。最初の頃はサポーターとのコミュニケーションには、ちょっと緊張が強く顔がこわばってたりしていたのですが、徐々に僕自身が信頼できる様になり、自分の悩みを聞いてもらう事でうまくコントロールできるようになりました。元々控えめな気質とか、ちょっと抑えてる感じで、自分が出せない、人見知りってところがありましたね。(笑)

岡: 雰囲気っていうのは事業所の環境の話ですか？

小: 環境とか綺麗でした。綺麗でしたって言うたらあれですけど、事業所の環境を見て綺麗でいいなと思って。自分がすごく好きな雰囲気だったので、それでジルベルトに入りたいなと思いました。

岡: なるほど。サポーターとの信頼関係で乗り越えてこれたんですね。

岡: そこから施設外に色々も行ってもらいましたが、なんかその中で苦労したこととかありましたか？

小: そうですね。自分が思っていた作業リズムとはちょっとズレるところがあったので、ちょっとそれに追いつくというか、そういうスピード感ですかね。作業スピードも早くしないといけないし、周りのメンバーとの協力性とかも重視しないといけないとは思いましたね。

小: そうですね。ジルベルトで働きたいなって決めたのは、やっぱりサポーターがすごい明るくて、すごいカッコいい人もいましたし。優しい人もいるなっていうのは外から見ることでもできたので、それは大きかったですね。

## ジルベルトで学んだこと

岡嶋(以下 岡):ジルベルトでいろいろ仕事してきたと思うんですけど、仕事を通して小林さんが学んだこと 身につけたことってありましたか？

小林(以下 小):まずは、このジルベルトっていう場所に入れたっていうのが やっぱり一番強いですね。自信ができました。

岡:そこからはどうでしたか？

小:やっぱり自分もやらないといけないっていう責任感とか 自分も自分なりに考えていかないといけない、自分ばかりのことを考えるんじゃないくて、周りのことを考えながらやるということですかね。自分のことだけでなく 周りの人のこととかをしっかりと考えるっていう気持ち芽生えました。

岡:この責任感っていうのは何に対しての責任感ですか？

小:やっぱりちゃんと自分もしないといけないし、それを周りの人もしっかりとしてる所も見てるので、より自分もその人のようになりたいっていう目標を持ったっていう感じですかね

岡:ジルベルトは周りの人が結構しっかりしてる人が多かったから、自分もそういう風になりたいって思ったってことですか？

小:そうですね。もともと自分がそんなに 弱い人間にちょっと思ってしまったところがあったんですけど、強い人が多いところに入れたので、学べることができたら自分もいろいろプラスになるかなって思いました。自分の良いところを 強く引き出してきてるって思ったんですね

岡:引き出してきてる？

小:自分が緊張して無理してしまっている時に声をかけてくれて自然に接してくれたんですね。結構自然体の自分を引き出してきてくれました。

## 就職活動開始！サポートはどうだった？

岡嶋(以下 岡):将康さんが就職のサポートに入ってくれたと思うんですけど、実際どんなことをしてもらったか覚えてます？

小林(以下 小):自分の目線に合わせてもらって「こういうことでできましたよね」っていう。作業をやった中で「小林さんこういうことでできましたよね」っていう感じで、じゃあ「こういうところをいつてみたらどうですか？」っていうアドバイスをくれました。

岡:「小林さんこういうのできてたってことは、こういう場所でも活躍できるじゃない？」っていうのを教えてくれたってことですか？

小:はい。変に自分で考えて次の場所を広げるよりかは、将康さんが次のいいところを見つけてくれたっていう感じですかね。

岡:なるほど。それを言われた時、小林さんは納得感はあったんですか？

小:はい。でも正直ちょっと緊張とか心配とか、不安もありましたね。

岡:不安があった中でよく就活できましたね？

小:やっぱりサポーターの支えのおかげで、自分の就職に対するワガママも聞いてもらいつつ、「今はこういう準備をしなくてはいけない」とか、細かく教えてもらったことで、自分の考えがまとまってちゃんとした方向に行けたかな？と思います。

## GILBERTO



小:昔からいるような錯覚というか、ジルベルトに入ったことで 自分がリラックスしている自分が引き出せたっていうか、過去は仕事場では無理してしまう感じが多かったんですけど、ジルベルトに入ったことで より自分が自然体を引き出してもらえるというか

岡:無理なく働けるようになったっていうことですか？

小:そうですね。これまでは「ここに馴染まないといけない」っていうのが強すぎるっていう気持ちがあって、結局無理して続かないみたいな感覚にはありましたね。

## 内定～勤務スタート

岡嶋(以下 岡):実際に就活サポートしてもらって就職が決まった時はどんな気持ちでした？

小林(以下 小):「次のステップに入れるんだ！」っていう安心感と、不安という緊張感もありましたね。

岡:不安と期待ですね。実際職場で働き始めてどうでしたか？

小:やっぱり新しい環境や人に対して、慣れるまでは時間がかかったんですけど。ただ前よりは思っているよりすんなり進んでいったっていうか、最初のこのどうしようっていう不安からすぐ抜け出せたっていうか。そんな意外な感覚はありましたね。

岡:実際職場でやり始めた仕事ってどんな仕事だったんですか？

小:最近の業務で言うと、コンビニに直通する品物を持っていく倉庫作業みたいな仕事ですね。

岡:物流倉庫でどんなことしてたんですか？

小:それぞれの店舗、今回はファミリーマートさんのところだったんですけど、その店舗にちゃんと届くように各コンビニに向けての荷物の仕分けみたいな。トラックに持ってもらうようにその場所を決められた場所に持っていくっていう作業をしてました

岡:実際その作業をしている中で、仕事をしていく中でジルベルトの経験って何か活かることってありましたか？

小:まずこの場所、この作業を集中してやらないといけないっていう感覚が活きましたね。

岡:作業の集中力みたいな？

小:そうですね。間違っちはいけないの。最初は職場の人も「別に間違ってもいいよ」とか、「破損ちょっと出てもいいよ」って優しく言うってくれるんですけど、もう1週間～2週間経つてくると、「もうすぐ1ヶ月になるぞ」っていう 上司からのプレッシャーというか。それは一般企業はやっぱりあるので。

岡:なるほど。作業の集中力ってジルベルトのどの作業で養ったんですか？

小:パソコンの細かい処理の作業とか、それは今の物の仕分けの作業でも一緒の感じですね。あと、野菜カットの野菜の皮むきとかも集中してやりました。最初は丁寧って感じだったんですけど、段々スピードも求められてきたのでその経験と似ていますね。



## コバヤシ タクヤさん (40歳)

- 神戸市出身
  - ジルベルト 2021年入社
  - 当時の担当業務:施設外就労
  - 2024年9月 一般就職
- 物流会社スタッフ 契約社員

## 出勤日の小林さんのスケジュール

- 7時 起床
- もろもろ準備
- 趣味(動画視聴、音楽鑑賞)
- 11時30分 家出る
- 12時 会社着
- 12時15分 中礼
- 12時半 業務開始
- 18時半 業務終了
- 19時半 帰宅
- ご飯
- 趣味(動画見る)
- 買い物
- 22時 就寝



## 今後の目標

自分が無理なく作業できること、それが大事だと改めて気づきました。飛び級というか、そういうことはせずにとっとつやって行きたいです。これからも無理なくしっかり積み上げて自分がやるべきことを把握してしっかり行動する。その上で我慢はしない。自然体でいながらやるべきことをしっかりやりたい。できる人になりたいです。



## 就活中の人に向けてメッセージ

最初は「自分のしたいことって何だろ?」といろいろ思うこともあるかもしれないんですけど、ちゃんと就職先がどういう場所か、どういうところかを理解して、就職してからは、いい上司を見つけて、その人にどんどん相談して行って、共感して、行動に移すっていう感じですね。会社のことか上司のことかをしっかり知ってるっていうのが大事ですね。どういうところなんだろうとか。自分に合ってるもの、合っていないものをいろいろ考えながら行動して、自分をどんどん楽にさせていくっていう感じですかね。自分の健康面のこともしっかり知りながら、仕事・会社のこともしっかり知ってるっていうのが大事ですね。

